



◎2月17日(月) 全校集会 「こども基本法」

令和5年4月に「こども家庭庁」が創設されるのと同時に「こども基本法」が施行されました。

「こども基本法」の動画はこちら！

第3条 こども施策は、次に掲げる事項を基本理念として行われなければならない。(条文より一部抜粋)



<https://youtu.be/ZNb80TAHeGc>

- 一 全てのこどもについて、個人として尊重され、その基本的人権が保障されるとともに、差別的取扱いを受けないようにすること。
- 二 全てのこどもについて、適切に養育されること、その生活を保障されること、愛され保護されること、その健やかな成長及び発達並びにその自立が図られることその他の福祉に係る権利が等しく保障されるとともに、教育基本法の精神にのっとり教育を受ける機会が等しく与えられること。
- 三 全てのこどもについて、その年齢及び発達の程度に応じて、自己に直接関係する全ての事項に関して意見を表明する機会及び多様な社会的活動に参画する機会が確保されること。

こども基本法の「こども」とは、18歳～20歳といった”年齢“で必要なサポートがなくならないよう、心と身体の成長の段階にある人をいいます。みなさんはまだまだ成長します。おとなになるまでたくさんのサポートを受ける必要があります。心や身体が辛い、苦しいと感ずることがある場合は、周りの信頼できる大人に相談して下さい。先生方も一緒に考えます。

◎生徒会からの報告 「泉南ユース人権フォーラム」



生徒会執行部の4名が、1月25日(土)に貝塚南高等学校で開催された「泉南ユース人権フォーラム」で学んだことを、全校集会で報告してくれま

した。「それぞれの人の違いを受け入れ、尊重すると、それは個性になってその人の力、その人の強みになりま

す。それを理解し合うことができたなら差別のない温かい環境を作り出す一歩となるでしょう。差別を作ったのは人間です。だから差別をなくすのも人間の役目です。みなさんも自身に先入観や考え方に偏りがいないか、誰もが心からつながるためにできることはないか、今一度考えてみてはいかがでしょうか。」と伝えてくれました。

◎1月24日(金) 2年生 進路講話

大阪府立高等学校が6校(和泉・貝塚・久米田・岸和田・伯太・佐野工科)、岸和田市立産業高等学校、私立高校4校(近畿大学

泉州・大阪学芸・浪速・羽衣学園)の計11校の高校の先生に来ていただき、それぞれの学校の特色や高校卒業後の進路についてスライドや映像を交えて教えていただきました。2年生は、事前のアンケートをもとにそれぞれ3つの高校の説明を聞くことができました。



◎1月28日(火) 新入生体験授業 入学説明会

光明小学校と常盤小学校の6年生が新入生体験授業に来ました。生徒会が制作した桜台中学校の学校紹介の映像を見てもらい、3年生の先生方による「さくトレ」を体験してもらいました。その後、生徒会執行部のみなさんの引率で、各クラブの見学をしてもらいました。



◎1月31日(金) 交通安全教室

岸和田警察の交通課から講師に来ていただき、自転車の交通安全ルールやながらスマホの危険性、“ひねチャ(アクセルを備えたフル電動自転車)”が原動機付き自転車と同じで、運転免許やヘルメット着用等が必要で、違反した場合無免許運転など道路交通法、道路運送車両法の違反として罰則を受けることなどを教えてもらいました。



◎2月4日(火) 電子掲示板を寄附していただきました！

公益信託道浦静枝記念教育基金の助成物品として電子掲示板を寄附していただきました。早速、放課後学習や3年生進路懇談会の案内など活用させていただいています。

(裏面：一言コラム)



一言コラム

シンギュラリティ

2008年ディズニーピクサーの映画に『WALL・E』というものがある。

人間が住めなくなった29世紀の地球で700年間たった一人ごみ処理を続けているロボットの物語である。この映画はロボットが人間以上に人間らしく描かれている。果たしてこの「人間らしさ」とは何か…。

そう言えばウィル・スミス主演の『アイロボット』のラストシーンでもロボットがアイコンタクトで人間に「自分を信じて」と意思疎通を図り、暴走する大量のロボットを止めるシーンがあった。

AIが人間の能力を超える地点（＝シンギュラリティ）は到来するのか？

これからの世の中、人間にはどんな能力が必要とされるのか。

20世紀初頭、工場がオートメーション化され始めた時代にも機械ではできない事務作業をする労働需要があったにも関わらず、工場労働者はその教育を受けていなかったために一時、失業者があふれたのだとか。

現代、アマゾンでは即日配達。ラインは即レス。こんな時代だからこそ、答えが一つでない問いを「じっくり考える」ことが大切なのではないだろうか。

「幸福とは…」「生きるとは…」「人間らしさとは…」

一つの意見に「いいね」するのもいいが、自分と異なる意見にも柔軟に耳を傾け、じっくり考えて本質を読み解く。わが子にはそんな人になってほしいと思う。

自分にできることはわずかかもしれない。

だけど、日々わが子に尋ねる。Yes、Noで答えられない問いを「どう思う？」と。

